

○議長（茅沼隆文）

それでは、再開いたします。

引き続き一般質問を行います。

3番、湯川洋治議員、どうぞ。

○3番（湯川洋治）

3番議員、湯川洋治でございます。

通告に従いまして1項目、質問させていただきます。

開成町の防犯対策について。

町のホームページで環境防災課から「松田警察署管内で、昨年末以来、空き巣、忍び込みによる被害が多発しており、戸締まりをしっかりと確認し、被害に遭わないように注意してください」とあり、松田警察署駐在だよりでも振り込め詐欺被害防止等について注意喚起がされています。現在、自治会を中心に多くのボランティア団体が地域の自主防犯活動を行っており、地域活動を促進するため、町として補助体制等のさらなる支援が重要と考えます。

また、子どもが身の危険を感じたとき等の緊急の避難場所として設置されている「子ども110番のいえ」は、大変有効と考えます。しかし、いざという時のために「子ども110番のいえ」がどこにあるのか、周知することが必要と思われます。表示位置の確認や子どもたちが避難しやすい環境が整っているかなど、避難してきたときのための対応訓練等の再点検が必要と考えます。

子どもから高齢者までが犯罪に巻き込まれない安全に暮らせる社会を実現させるために、町の防犯対策について伺います。犯罪発生状況及び不審者情報について、地域活動支援について、防犯カメラの設置状況について、「子ども110番のいえ」の現状について。以上、よろしくお願い申しあげます。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、湯川議員の御質問にお答えをいたします。

開成町では、平成19年に「かいせい防犯まちづくり推進協議会」を立ち上げ、地域の団体や警察などの関係機関と協働して、犯罪のない安全で安心なまちづくりを進めております。近年では犯罪発生件数も減少しており、成果が出ていると認識をしております。今後も引き続き防犯対策に取り組んでまいります。

それでは、一つ目の犯罪発生状況及び不審者情報について、お答えをいたします。

開成町の過去3年間の犯罪の発生件数の推移は、平成25年が146件、平成26年が132件、平成27年が96件と減少傾向にあります。これは地域の団体の皆さんや警察などと協働した中での結果であり、今後も引き続き町ぐるみで協力体制を強化していきたいと思っております。

犯罪の内訳としては、自転車窃盗、万引き等の窃盗犯が全体の8割を占めておりますが、今年の犯罪の特徴としては、夏場を中心に空き巣、忍び込み、事務所荒ら

しが多発いたしました。８月には空き巣、忍び込みが６件発生し、９月には事務所荒らしが４件発生をしております。対策として、各戸回覧による注意喚起や広報紙などによる戸締りの徹底、周囲の不用心な場所の点検の励行などのＰＲに努めております。

振り込め詐欺被害については、６５歳以上の高齢者を中心に、開成町を含め全県的に依然として高い発生状況となっています。被害額で見ますと、県内のデータになりますが、現在までで昨年度の１．２倍、約２９億円にも上ります。また、振り込め詐欺の手口も、オレオレ詐欺以外に架空請求詐欺や還付金詐欺など多種多様で非常に巧妙になってきております。町の対策としては、松田警察署からの情報提供により防災行政無線、及びｔｖｋのデータ放送による注意喚起やあんしんメールによる配信などを実施しております。また、１１月号の「広報かいせい」の安全・安心だよりにおいて、振り込め詐欺などの「特殊詐欺」について特集をし、注意喚起を実施しております。

松田警察署管内で発生した不審者情報につきましては、署からの情報が入ると、町ホームページや開成町あんしんメールで皆さんに情報提供をしております。登録者２６７人に対して、平成２６年度では１４件、平成２７年度では９件、平成２８年度については４月から１１月の間で３件の情報提供を実施しております。

教育委員会が取り扱っている子どもを対象とした不審者情報については、県西教育事務所管内、２市８町で発生した事案について、各市・町教育委員会から県西教育事務所へ不審者情報が伝達をされ、地域性などを考慮して精査された情報が各市・町教育委員会へ情報提供されるものと、もう一つ、県警の子ども安心メールのピーガル君で情報提供される二通りの不審者情報があります。これらの提供された情報について、町教育委員会では発生した時期や場所等により園・学校へ周知するかを判断し、周知した場合には、学校で子どもたちへの注意喚起、職員によるパトロールを行っております。

また、開成町内で発生した事案については、直ちに園・学校へ連絡をして子どもたちへの注意喚起を行うとともに、職員による下校指導、教育委員会では公用車によるパトロールの実施とあわせて、町部局と県西教育事務所への連絡を行う体制をとっております。

次に、二つ目の地域活動支援について、お答えをいたします。

地域の防犯活動については、園・学校などによる見守り活動、各自治会による防犯活動、開成駅前連絡所ボランティア安全サポーターによる巡回活動、それ以外にも婦人会、老人クラブ、商工振興会、消防団、交通指導隊など、町内の様々な団体の活動を通して防犯活動が展開をされております。

また、買い物等の機会を利用して実施していただく「おでかけパトロール」事業では、現在、プレート５３０枚あまり配付をし、多くの町民等の御協力により活動が展開されております。お出かけパトロールは犯罪抑止力として効果も高いので、今後、古くなったプレートの交換とあわせて新規に協力していただける方を募集し

ていきます。

さらに新たな取り組みとして、今年度、来年度の２カ年で神奈川県防犯活動補助事業である地域連携モデル事業を活用し、「オールかいせい」をスローガンに、町、自治会、関係団体、警察、民間企業等、様々な機関と連携した取り組みを展開していきたいと考えております。事業の内容は、自治会や防犯関係団体が行う防犯キャンペーン等の活動の際に配付する啓発物品の提供や団体構成員の防犯意識の啓蒙、啓発を推進していくため講演会等を開催するものであります。

次に、三つ目の防犯カメラの設置状況について、お答えをいたします。

現在、開成町では犯罪の抑止、犯罪発生現場の記録等を目的に、町内の公園、学校などに防犯カメラを設置しております。町で設置した防犯カメラは、開成駅西側ロータリーに２台、開成駅前第一公園に１台設置をしております。また、南部地区土地区画整理事業に伴い、みなみ地区の公園に４台、緑道に３台、南部コミュニティセンターなどの公共施設に３台設置をしております。

次に、園・学校での防犯カメラの設置状況であります。開成小学校では屋外に３台、開成南小学校では屋外に５台、文命中学校では屋外に７台設置をしております。また、開成幼稚園では、平成２９年度に行う大規模改修工事で防犯カメラ３台設置していく予定であります。学校等に設置している防犯カメラは、いずれも録画機能を有しており、画像の保存期限は２週間程度で、監視モニターは各職員室で見やすい場所に設置をしております。

民間施設における防犯カメラについては、小田急開成駅をはじめ金融機関、スーパー・コンビニエンスストアなどの商業施設、マンションなどにも配置がされております。

防犯カメラの設置については個人のプライバシーの問題があり、導入を見合わせていた時期がありましたが、防犯カメラの実効性等を検証し、平成２７年度から防犯カメラの導入を本格的に開始いたしました。近隣市・町と比較した現在の開成町の設置状況は、台数では中井町に次いで多いほうであります。人口の増加、交通のアクセス、駅周辺への滞留の状況を踏まえ、今後も防犯カメラの設置場所を順次増やしていきたいと考えております。

次に、四つ目の「子ども１１０番のいえ」の状況について、お答えをいたします。

小学校では機会を捉えて、主に通学路に面した「子ども１１０番のいえ」のお宅について子どもたちが現場で確認をしております。「子ども１１０番のいえ」は平成９年から導入しており、「子ども１１０番のいえ」に協力いただく際には緊急連絡先が掲載された対応マニュアルをお渡ししております。現状では、空家であったり看板が傷んでいるお宅もありますので、今年５月に今後の継続協力の意向確認を含めて調査を行い、古い看板については交換をするなどの措置を行い、現在、店舗を含んだ４２３軒で協力をいただいております。

導入から現在まで、開成町では不審者等から逃れるために「子ども１１０番のいえ」へ駆け込んだ事例はございません。町内の多くのお宅や店舗に看板が設置され

ているということで、防犯への抑止力効果はとても高いと判断をしております。今後は、新たに開発されたみなみ地区など、看板の設置がない空白の地域もありますので、通学路周辺を中心とした店舗等へ呼びかけをし、おしらせ版では新規募集を呼びかけていきたいと考えております。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ただいま町長から細部にわたりまして説明をいただきまして、ありがとうございました。町民が安心して安全に生活できるのは、やはり警察、行政はもちろんのこと、多くのボランティアの方々の御努力があつてのことだと思います。それでは、再質問させていただきます。

開成町では、平成19年度に「かいせい防犯まちづくり推進協議会」を立ち上げ、犯罪のない安全で安心なまちづくりを進め成果を上げているとのことですが、推進協議会の主な内容や構成メンバーについて教えてください。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

湯川議員の御質問にお答えいたします。

「かいせい防犯まちづくり推進協議会」は、地域の団体及び行政機関と協働いたしまして、町民総ぐるみで防犯活動を展開することによりまして、犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現を目的としております。

所掌事務につきましては、防犯まちづくりに関する情報の交換、防犯まちづくりの普及のPR、それから安全で安心なまちづくりの意見提言などがございます。

構成メンバーといたしましては、自治会、園・学校、防犯関係団体、それから松田警察署防犯指導員、それから町関係者という形になっております。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。防犯ではこの組織が一番大きいということでよろしいのですよね。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

はい、町総ぐるみでという形で構成されておりますので、開成町としては最大の団体という形になるかと思えます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございました。これからも、よろしくお願いいたします。

次に、犯罪の発生状況について教えてください。過去3年間の件数を御答弁いただきましたけれども、発生件数は減少しているということでございますけれども、検挙率はどんな具合ですか。どの程度の検挙率か、ちょっと教えてください。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

湯川議員の御質問にお答えいたします。

直近、平成28年度の1月から10月のデータでございますけれども、松田警察署管内では34.7%、県内におきますと39%というような状況になっております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

大分高いと思いますね、やはり40%近く検挙されているというのは。でも、逆に言えば、残りが捕まっていないということです。

次に、振り込め詐欺関係についてお伺いします。振り込め詐欺被害については県内の状況を御答弁いただいたのですが、開成町においての状況を教えてください。もちろん個人情報保護法がありますので、差し支えない範囲でお願いします。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

ただいまの湯川議員の御質問にお答えさせていただきます。

振り込め詐欺被害に関しましては、神奈川県警からの情報によりますと、現在の被害としましては1件ございまして、250万ほどの被害がオレオレ詐欺の中で遭われているというような状況でございます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。私も、たびたび町の防災無線で振り込め詐欺等の電話があったというような形で、注意してくださいというような放送を耳にしておりますけれども、これからも振り込め詐欺の啓発活動をよろしくお願いいたします。

次に、今年度、来年度の2カ年で神奈川県の補助事業である地域連携モデル事業を活用して様々な機関と連携した取り組みを展開すると、こういう御答弁をいただ

きました。地域モデル事業というのは、どのような事業を展開するのか、ちょっと教えてください。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

ただいまの湯川議員の御質問にお答えいたします。

ただいま議員がおっしゃられましたように、今年度、来年度の２カ年で神奈川県
の防犯活動補助事業、こちらを使わせていただきまして、神奈川県、それから神奈
川県警察本部と連携いたしまして、自治会、園・学校、それから防犯関係団体、松
田警察署防犯指導員等の町を挙げての体制の中で、町内企業等の機関とも連携いた
しましての事業を展開いたします。

一例を挙げますと、今、議員の御指摘がございました振り込め詐欺対策というこ
とで、例えば、６５歳以上の高齢者世帯を対象に、民生委員・児童委員の皆様と連
携いたしまして、固定電話に設置するポップシール、こういったものを配付いたし
ましたり、防犯用電話の自動応答装置、こちらを神奈川県、神奈川県警察本部と連
携いたしまして、高齢者世帯、それから三世帯世帯等への配付を行いまして、こち
らのモニター調査をさせていただきます。さらに、モニター効果の効果測定により
まして、よりよいものだということでの効果が認められた場合には、町への実際の
補助制度等の導入等を検討してまいりたいと考えます。

また、松田警察署と連携いたしまして、県内の振り込め詐欺の事例をまとめまし
て、高齢者世帯ですとか各自治会などの関係団体、さらには金融機関、スーパーな
どに配付させていただきまして、水際での振り込め対策を防止するというような、
そういう形もとっていきたいと思います。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○３番（湯川洋治）

オール開成ということでやられるということで、期待ができると思います。

地域連携モデル事業というのは、自治会に、具体的には、どういう提供というか、
内容というのは。自治会に対してのものは、ありますか。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

ただいまの湯川議員の御質問にお答えいたします。

地域連携モデル事業におきまして、こちらの防犯キャンペーンなどを実施される
際に使用できるビブス等、こちらをこの事業の中で購入させていただきまして防犯
団体等の皆様への貸し出しを実施いたしましたり、また、神奈川県、神奈川県警察本
部との連携によりまして、防犯に関する専門的な知識を持った講師を派遣していた

だくことによりまして防犯講演会、研修会など、こういったものを開催させていただきまして、自治会等の防犯団体の皆様の防犯情報の共有化、それから防犯意識の啓蒙・啓発、こういった部分を推進してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございました。

次に、防犯カメラの設置状況についてお伺いします。防犯カメラは、犯罪を未然に防ぐには大変有効的な考え方だと思います。町の人口も増加して、不特定多数の人が集まる駅周辺や多数整備された公園においては、犯罪等が起こりやすい環境でもあると思います。そこで、防犯の一助を担っている防犯カメラについての活用の実例、これがあれば教えてください。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

湯川議員の御質問にお答えさせていただきます。

防犯カメラの実例につきましては、過去3例ほどございました。いずれも刑事事件としての捜査が行われるというような状況でございまして、内容的には事件の捜査資料という形になっております。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。

あと、防犯カメラの画像の保存期間、先ほど2週間程度と言いましたけれども、これは24時間録画できたものが2週間保存されているという判断でよろしいですか。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

ただいまの湯川議員の御質問にお答えいたします。

防犯カメラの保存期間という御質問でございます。今、おっしゃられました2週間というのは、学校の統合的に集約したところでの保存期間という形でございまして、防犯カメラ単体それぞれでありますと、それぞれの柱のところに保存装置がついておりますので、こちらについては約5日間程度の保存期間、24時間、こちらは保存できる形になっております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

5日間の保存で大丈夫かなという気がするのですが。当然、防犯カメラで性能が良ければ、相当、録画ができて日数も大分かかると思うのですがけれども、5日で大丈夫かなとちょっと不安を覚えるのですがけれども、大丈夫ですかね。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

カメラの性能という部分でも、5日程度というカメラの容量というものがございまして、容量の範囲内で例えば延ばすことは可能なのですがけれども、画像で人物を特定できるという、その辺の限界でいきますと5日ぐらいが一番クリアに見えるというところがございますので、その辺、さらに長く保存できればよりよいかと思えますので、そのあたり研究させていただければと思います。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。

今後、防犯カメラの増設というか、設置予定の計画を教えてください。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

ただいまの湯川議員の御質問にお答えさせていただきます。

防犯カメラの設置ということでの御質問でございます。先ほどの町長答弁の中でも、平成27年度から、防犯カメラの有効性を確認させていただきまして順次付けていくということで答弁させていただきましたが、人の集まる公園ですとか、それから駅前のロータリー、こちら辺り、特に人の集まるところを中心にしまして計画的に設置させていただきたいと考えております。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございました。

次に、「子ども110番のいえ」についてお伺いします。

「子ども110番のいえ」の現状について、申請や脱退はどのようにして行われているのか、教えてください。

○議長（茅沼隆文）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、質問にお答えいたします。

例年、お知らせ版等で募集等はしているところでございます。今年度につきましては、先ほど答弁でもございましたが、5月に、大分古くなっているお宅ですとか空き家になっているところも見受けられましたので、戸別に通知を指しあげまして、それで今後の継続等についてお伺いしたところでございます。高齢者世帯とかになりますと、やはりお断りされるところもございますので、今年については一掃ということで精査をさせていただいたところでございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

今、今年の5月に継続の意向の確認を行ったということなのですが、意向確認というのは平成9年に導入されてから初めてですか。何回目ですか。

○議長（茅沼隆文）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

全体の継続意向ということでは、初めて行ったものでございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございます。

導入から既に19年経っていますので、中には日常、人がいないケースも想定されますし、緊急連絡先の警察がやっているマニュアル等もあるということで伺っていますけれども、マニュアルの内容というのはどんな内容なのか。

○議長（茅沼隆文）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、お答えいたします。

まず、子どもが助けを求めて駆け込んでまいりますので、第一としては保護していただくことです。2番目に、必要があれば警察へ通報。あとは、園・学校への連絡をお願いしたいと考えてございます。あと、連絡先等、そちらの警察ですとか関係機関の連絡先を書いてございまして、そこを見れば連絡先が一目で分かるような簡単なものではございますが、マニュアルをお配りしているところでございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

小さい小学校1年生から結構大きい子までいると思うので、どんなマニュアルかというのが一番気になっております。いつ、どこで、何があるか分かりませんので、子どもが被害を受けたときに、どういう対応ができるかというのが、受けるほうと

しゃべるほうですね、これがちょっと気になったものですからお聞きしました。

子どもさんが不審者から逃れるために「110番のいえ」に駆け込んだ事例はないということなのですけれども、例えば、緊急避難があった場合、そういうことを想定しての訓練、こういうものは行っているのでしょうか。それから、具体的に子どもたちにはどういう指導をされているか、教えてください。

○議長（茅沼隆文）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、お答えしたいと思います。

今のは学校等での訓練でよろしいでしょうか。

○3番（湯川洋治）

そうです。

○教育総務課長（橋本健一郎）

こちらにつきましては、年度当初に毎年、幼稚園、小・中学校を含めまして、防犯ですとか安全指導、そういったものの取り組みの予定を組んでおります。ちなみに幼稚園で申しますと、防犯教室ですとか不審者の侵入時の避難訓練、あと防犯指導等を行ってございます。そのほか、先生方を対象としまして、不審者が入った場合の対応ということで、そちらを警察の方をお願いして個別の対応を行っているところでございます。

そのほか、小学校等におきましても、年齢によって、1、2年生から5、6年生もおりますので、年齢によって防犯教室ですとか不審者の対応訓練等、個々のそういった年間のスケジュールを組んだ中で対応しているところでございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

お子さんの安全ですので、やはり一番気になるところでありましたので、今現在は一度もないということですが、今後もないことを祈りながら進めていただきたいと思います。

私自身も、開成駅の駅前の連絡所の安全サポーターをやっております。町民が安全に生活できるように、これからも防犯活動に携わっていきたいと思います。

ちょっと時間がありますけれども、これで私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（茅沼隆文）

これで、湯川議員の一般質問を終わりにいたします。